

あとがき

私は数年前に、パリ市内のロダン美術館に行つたことがある。元々は、18世紀に建てられたロココ様式の美しい館だったが、20世紀初めにはアパートマンとなり、オーギュスト・ロダンが気に入つて晩年のアトリエ兼住居とした。フランス政府がその地所を買い上げるときに、ロダンが自分の作品と美術コレクションを遺贈することで、国立の美術館として生まれ変わった。ゴッホの代表作である《タンギー爺さん》も、その代表的なコレクションだ。

数々の見事なブロンズ像や塑像の中で、今なお忘れられない作品がある。《大聖堂 La Cathédrale》と名づけられた高さ60cmほどの石灰石の彫像だ。一見するとアルブレヒト・デューラーの《祈る手》を大きくしたように見える。しかし、手のひらの間が妙に空いており、手首より下が交差している。気づけば、どちらの手も右手なのだ。二人の右手どうしが交錯して、ちょうど触れ合う瞬間を活写したようでもある。

男女の手なら、なぜそこまで大きくしたのか。そもそも、なぜ「大聖堂」というタイトルなのか、と次々と疑問が湧く。たとえばノートルダム大聖堂を正面から見ると、一対の塔が目を引くが、その形を巨大な手で模したのではないか。そして、二つの手の隙間に祈りの空間があり、交差する腕は、ゴシック

建築の天井にある交差アーチを連想させる。あえて祈りの手のような左右対称の形にしないことで、この世の危うい不均衡を表したかったのかもしれない……。

《大聖堂》はロダン晩年の傑作で、手だけを切り取つた一連の作品の到達点である。同時期のロダンの作品では、《神の手》は右手で、《悪魔の手》は左手で表されていた。すると、祈りの象徴としては、両方とも右手でなくてはならないわけだ。

ところで、「ノートルダム Notre-Dame」はフランス語で『わが貴婦人』という意味で、聖母マリアのことを指す。すると《大聖堂》は、マリアの手を意味するかもしれない。しかし、二つの右手は別人のものだから、もう一人必要だ。聖母マリアと言えば「受胎告知」。その任を担つたガブリエルは、大天使の中で唯一の女性だと言われている。もしかすると、その二人とは、マリアとガブリエルなのではないか。たしかに絵画では、レオナルド・ダ・ヴィンチの傑作をはじめ、受胎告知の場面が二人の女性だけで描かれていることが多い。手指のわずかな触れ合いは、そうした奇跡の共有かもしれない……。

さて、今月の特集は「脳神経内科と睡眠医学」である。以上は私の空想だが、睡眠中の夢は人間の優れた想像力の表れなのだろう。

(酒井邦嘉)

編集顧問

| | |
|-------|-------|
| 石塚 典生 | 糸山 泰人 |
| 内山真一郎 | 大友 英一 |
| 梶 龍兒 | 河村 満 |
| 桑原 聰 | 高坂 新一 |
| 作田 学 | 辻 省次 |
| 寺本 明 | 中込 忠好 |
| 中里 洋一 | 彦坂 賢秀 |
| 平山 恵造 | 藤澤浩四郎 |
| 水澤 英洋 | 水野 美邦 |
| 森 啓 | 柳澤 信夫 |

編集委員

| | |
|-------|--------|
| 神田 隆 | (編集主幹) |
| 酒井 邦嘉 | 下畠 享良 |
| 高尾 昌樹 | 三村 將 |
| 虫明 元 | |

編集同人

| | |
|-------|-------|
| 入來 篤史 | 岩田 淳 |
| 宇川 義一 | 内原 俊記 |
| 大隅 典子 | 岡部 繁男 |
| 木村 和美 | 久保 義弘 |
| 栗植 薫 | 小林 靖 |
| 斎藤 延人 | 砂田 芳秀 |
| 高橋 良輔 | 瀧山 嘉久 |
| 武田 伸一 | 平田 幸一 |
| 寶金 清博 | 星 英司 |
| 星野 幹雄 | 本田 学 |
| 松野 彰 | |

(五十音順)

本誌は MEDLINE に
収載されており、掲載論文は
PubMed で検索可能です。

BRAIN and NERVE 第77巻第10号

2025年10月1日発行(毎月1回1日発行)

定価3,080円(本体2,800円+税10%, 送料実費)

2025年年間購読料

(増大号1冊を含む12冊、税込、送料弊社負担)

冊子版 40,370円

電子版/個人 37,488円

電子+冊子版/個人 44,550円

商品・定期購読の送付先変更・広告その他のお問い合わせ先
<https://www.igaku-shoin.co.jp/inquiry>

印刷所

(株)アイワード

広告申込

(株)ハイブリッジエージェンシー TEL 03-3814-0089

◆本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

◆本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用的ための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者などの第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY〔出版者著作権管理機構委託出版物〕

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構(TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

◆「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

発行 株式会社医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

編集室直通

TEL 03-3817-5701

FAX 03-3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp/

<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/416>

担当:有賀・前野

Published by IGAKU-SHOIN

Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku,

Tokyo ©2025, Printed in Japan